

第1回デジタル水産業戦略拠点検討会 事例紹介
「大阪府資源管理船びき委員会におけるDXを通じた漁業の付加価値化取組み」

2022. 8. 25
全国漁業協同組合連合会



【目次】

1. 当資源管理委員会の概要
2. デジタル化の目的（現在まで～今後）
3. デジタル化の取組状況（浜の活力再生広域プランとの連携）
4. デジタル化による効果（今後の取組を含む）
5. デジタル化に向けた課題
6. 共有される（されている）データの種類
7. デジタル化に向けたコンソーシアム（イメージ・大阪泉州広域水産業再生委員会を基盤とした場合）
8. 拠点創設に向けて取り入れたい水産デジタル機器・施設（仮）

参考資料①：大阪府下漁業勢力

参考資料②：巾着網漁業と船びき網漁業

参考資料③：浜の活力再生広域プランの概要（岸和田臨海地区地域水産業再生委員会）

参考資料④：施設整備事業（イメージ）

参考資料⑤：地域のにぎわい

1. 当資源管理委員会の概要

- (1) 名称：大阪府資源管理船びき委員会（船びき網漁業管理部会）
- (2) 所在：大阪府岸和田市地蔵浜町1-1-1（大阪府漁連内）
- (3) 経営体数：67ヶ統（表①、図①参照）

表①：所属組合別生産者数（府下24漁協中、シラス漁業者は13漁協に所属）

漁協名	人数	漁協名	人数	漁協名	人数	漁協名	人数
大阪市	6	泉大津	2	春木	32	岡田浦	6
堺市浜寺	4	忠岡	8	岸和田	8	西鳥取	4
高石市	6	大阪鯉巾着	16	北中通	18	淡輪	12
				深日			12
				合計			134

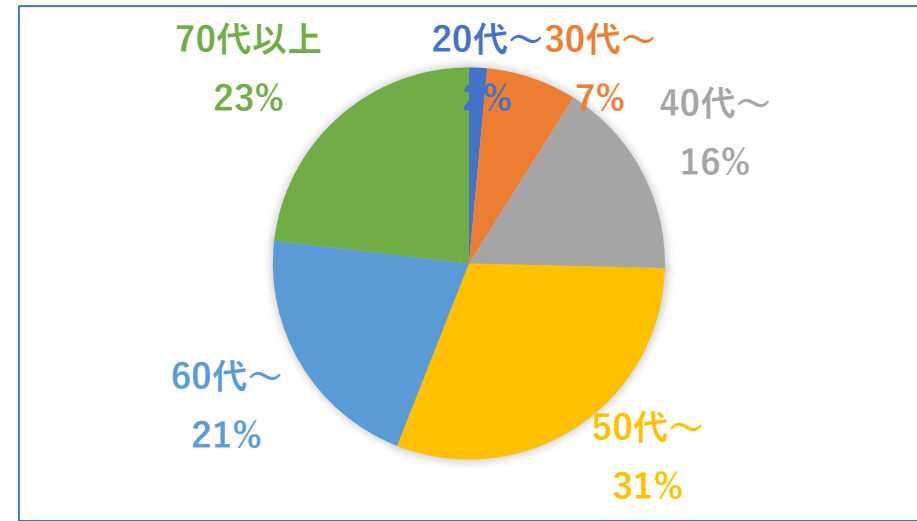
- (4) 漁種：船びき網漁（シラス、イカナゴ等）
- (5) 水揚港：大阪鯉巾着網漁業協同組合荷捌施設(写真①)
- (6) 水揚数量・金額

表②：水揚推移（単位：トン・百万円）

	2019年度	2020年度	2021年度
水揚数量	3,971	3,253	5,319
水揚金額	1,491	1,351	1,329

- (7) 入札参加者
兵庫（12社）、大阪（13社）、和歌山（21社）のシラス加工業者

(図1：年齢構成)



(写真①：荷捌施設外観)



2. デジタル化の目的（現在まで～今後）



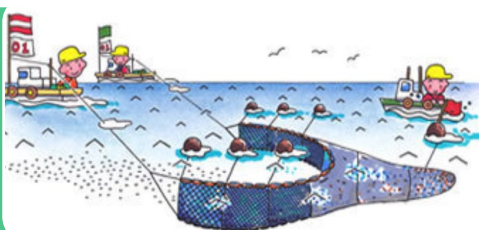
『集荷機能の集約化と競り取引（デジタル入札・全船びき網漁業）導入等による魚価向上』

- ・各漁協に船びき網漁（シラス）の競り場（荷捌所）がなく、漁業者と加工業者（仲買）との間での相対取引が主流であった。
- ・漁業者が価格競争力を生むために、漁業者と関係漁協の協議により競り場を集約化。電子入札システムの導入は、取引価格のオープン化により適正価格を実現し、魚価が向上している。



『漁撈負担軽減、コスト削減、品質等に対する漁業者の意識改革を通じた漁業所得の向上』

- ・不漁時の過剰操業、非効率な操業、燃油等操業コスト削減の停滞（船びき網漁の燃料費は約2割程度）の原因となっていた。
- ・各船の水揚量、入札価格の情報開示は、船びき漁業者間での好漁場情報の共有による効率的な操業（不要な操業の抑制）、および漁業者毎の価格差に対する鮮度管理等に対する意識改革に繋がっており、漁業所得向上に寄与している。



『持続可能な漁業のための資源保護（管理）』

- ・魚価低迷→過剰捕獲（量によるカバー）の要因となっており、将来的な資源量に懸念があった。
- ・電子入札システム導入により、各船の水揚量、入札価格が船びき漁業者へ共有されることによる漁獲調整（部会での取り決め）機能は、今後、他の漁種への横展開により、適切な資源保護（管理）が期待される。



『消費者ニーズの取り込みや海外輸出による販路開拓』

- ・入札結果を漁協ホームページやSNSで公開し、地元や近隣地域の買い手や新たな販路拡大や消費者ニーズを掘り起こす。
- ・既存輸出（カタクチイワシやボラ）の拡大に向けて、広域浜プランにより新設予定のシラス加工場で生産する冷凍生シラスをweb商談を活用し、関西国際空港を通じて海外輸出する。



『浜のにぎわいの創出と中核的漁業者の確保』

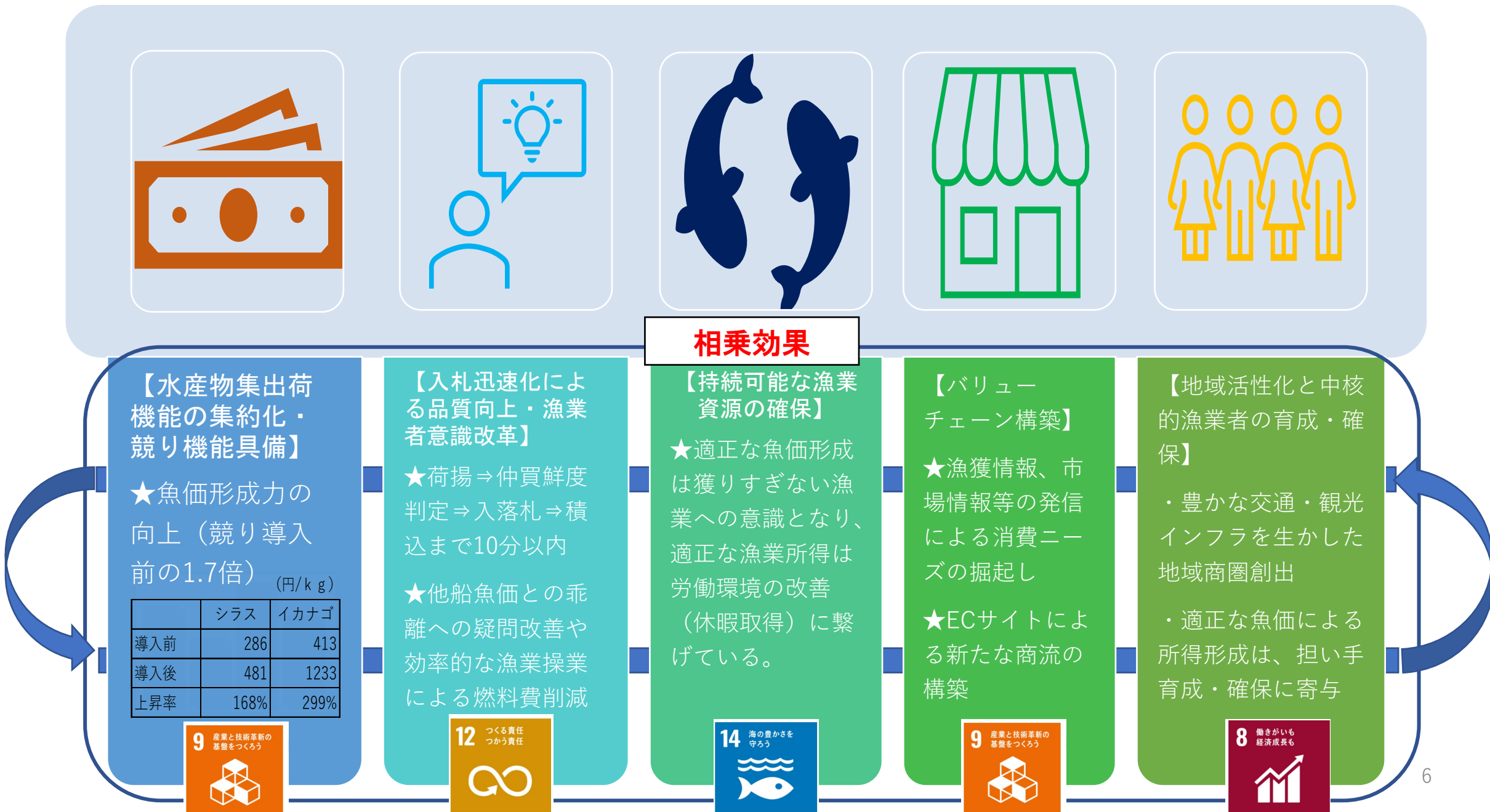
- ・泉州鮮魚ブランドの知名度向上に向け、SNSを活用した「地蔵浜みなとマルシェ」（毎週日曜日）、「大漁！親子祭り」（毎年10月）、漁協直営食堂「泉州海鮮きんちゃく家」の情報発信を通じた地域水産業のネットワークづくりを推進中。
- ・スマート水産業による市場外参加者や漁業者所得向上等の漁業の魅力の情報発信し、新規就業を含む中核的漁業者を確保する。

3. デジタル化の取組状況（浜の活力再生広域プランとの連携）

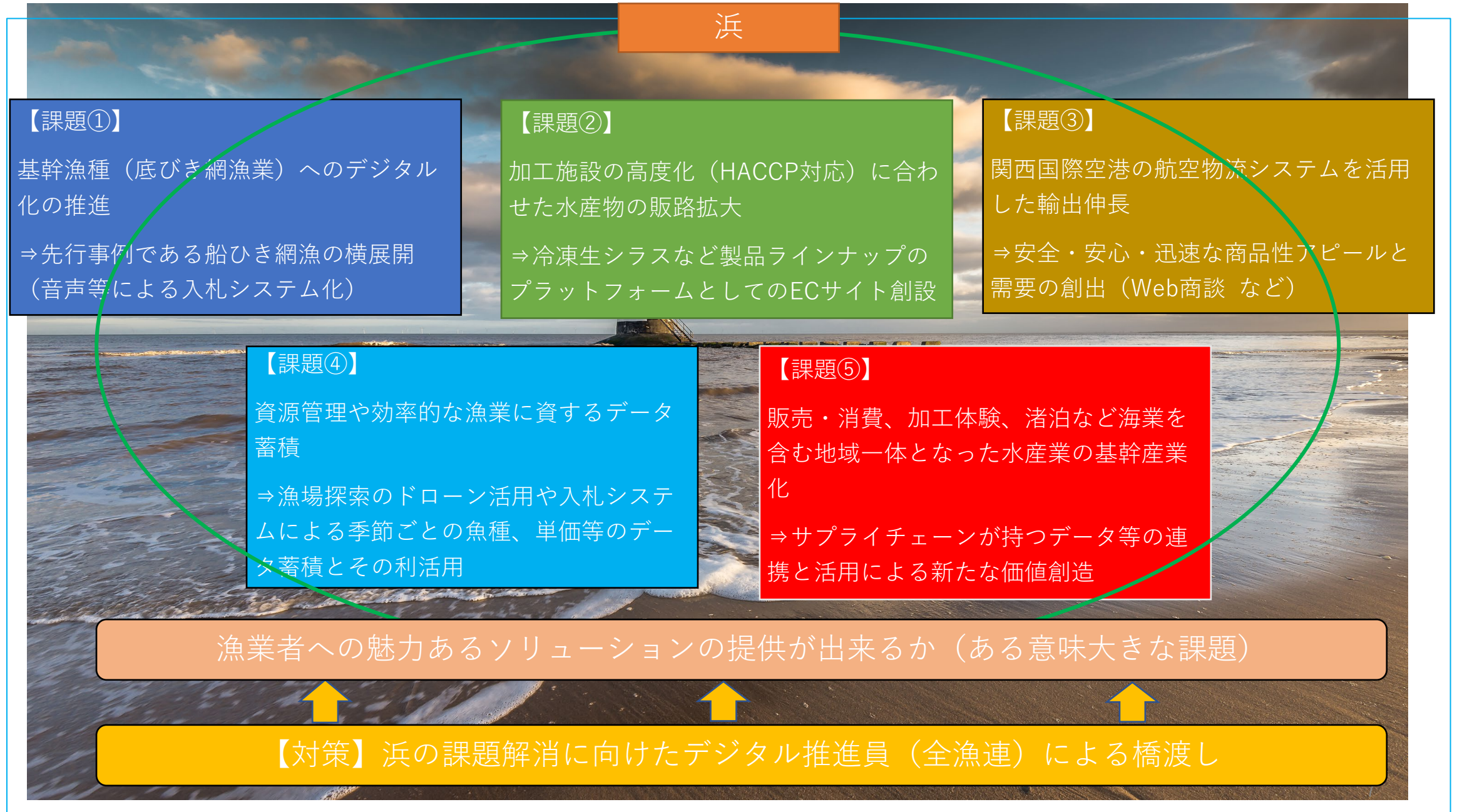
対象区分		内容	2020年度 以前	2021年度	2022年度	2023年度 以降	
生産者	①入札システム (業務委託※)	・競りの落札結果の電子表示 ・落札速報の漁場への通知 (LINE)	実施中				
	②販売管理システム (業務委託※)	・仕切伝票等の自動処理 (落札伝票 (請求書)、出荷伝票等)	実施中				
	③魚群探査無人機等	・魚群情報 (位置、時間) などの情報蓄積	実証実験済			再実証	
消費者	④SNS	・消費者に直売・飲食の情報を提供。 ・水揚や市況情報などを競り参加者以外に発信。	実施中				検討中
生産者	⑤操業情報	・気象情報、海洋情報などを漁業者への発信				検討中	
小売・消費者 輸出	⑥ECサイト	・落札された魚をECサイトに掲載し、小売、飲食店、消費者に提供する (現地の信頼出来る仲買人との連携等による)				検討中	
生産者	⑦漁場探索DB	・入札システムにおける魚価や漁獲量による漁場分析を行、魚価安定を図る。				検討中	

※ (株) オオサカフィッシャーマンサポート

4. デジタル化による効果（今後の取組を含む）



5. デジタル化に向けた課題



6. 共有される（されている）データの種類

入札データの内容

- ①漁業者名、②籠数③入札価格
- ④精算データ

8	11	16,900	7:38	貝石	7	41	15,500	7:49	忍丸	6	前:1	300	8:01	辰丸	5	前:6	500	8:13	初福丸	4	前:1	16,900
1	15	15,800	7:39	貝石	8	前:2	7,600	7:50	札野	7	31	16,700	8:02	五月丸	6	16	16,500	8:13	岸本	5	10	16,900
2	前:4	1,200	7:40	貝石	1	前:3	5,700	7:51	札野	8	前:4	7,300	8:03	北音丸	7	14	18,200	8:14	名倉	6	12	16,900
3	20	16,900	7:40	義丸	2	9	16,900	7:52	濱野	1	43	16,700	8:03	北音丸	8	11	16,900	8:15	和丸	7	23	16,900
4	前:8	5,300	7:41	義丸	3	16	16,400	7:53	濱野	2	前:3	4,100	8:04	幸丸	1	9	16,000	8:15	音萬	8	20	16,900
5	23	15,900	7:42	義丸	4	前:12	2,000	7:54	淀川丸	3	10	18,400	8:05	カネ正丸	2	21	16,100	8:16	音萬	1	20	16,900
6	12	16,400	7:42	義丸	5	前:20	2,000	7:54	勝丸	4	14	16,700	8:06	日乃出丸	3	8	16,000	8:17	音萬	2	前:10	16,900
7	13	15,000	7:43	義丸	6	前:7	7,100	7:55	金比羅丸	5	19	16,900	8:07	日乃出丸	4	12	15,900	8:18	音萬	3	前:20	16,900
8	前:1	7,600	7:44	栄光丸	7	17	15,900	7:55	宮太丸	6	13	13,900	8:08	戎丸	5	15	15,300	8:19	音萬	4	前:11	16,900
1	16	15,700	7:45	栄光丸	8	19	16,900	7:56	宮太丸	7	9	16,600	8:08	庄八	6	13	14,200	8:19	北音丸	5	14	16,900
2	22	15,900	7:45	栄光丸	1	25	16,300	7:57	樽音	8	21	16,700	8:09	又平	7	19	14,600	8:20	北音丸	6	前:1	16,900
3	14	16,500	7:46	栄光丸	2	前:3	2,500	7:58	五月丸	1	18	16,700	8:10	三平丸	8	34	17,200	8:21	北音丸	7	6	16,900
4	前:7	5,600	7:47	栄光丸	3	前:3	3,000	7:59	五月丸	2	前:2	4,300	8:11	三平丸	1	前:8	1,600	8:21	北音丸	8	前:1	16,900
5	前:7	800	7:48	栄光丸	4	前:2	500	8:00	藤音	3	16	16,700	8:11	初福丸	2	20	15,900	8:22	事業部	1	13	16,900
6	27	16,700	7:49	忍丸	5	18	16,400	8:00	辰丸	4	23	14,700	8:12	初福丸	3	25	15,300	8:23	事業部	2	前:2	500

情報伝達のスピード化

(スマホの活用)

入札結果をLINEですぐに
漁業者へ配信

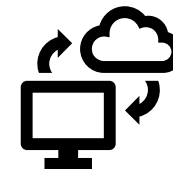
漁獲報告システムとの連携（2022年度予定）

(今後共有が想定されるデータと課題)

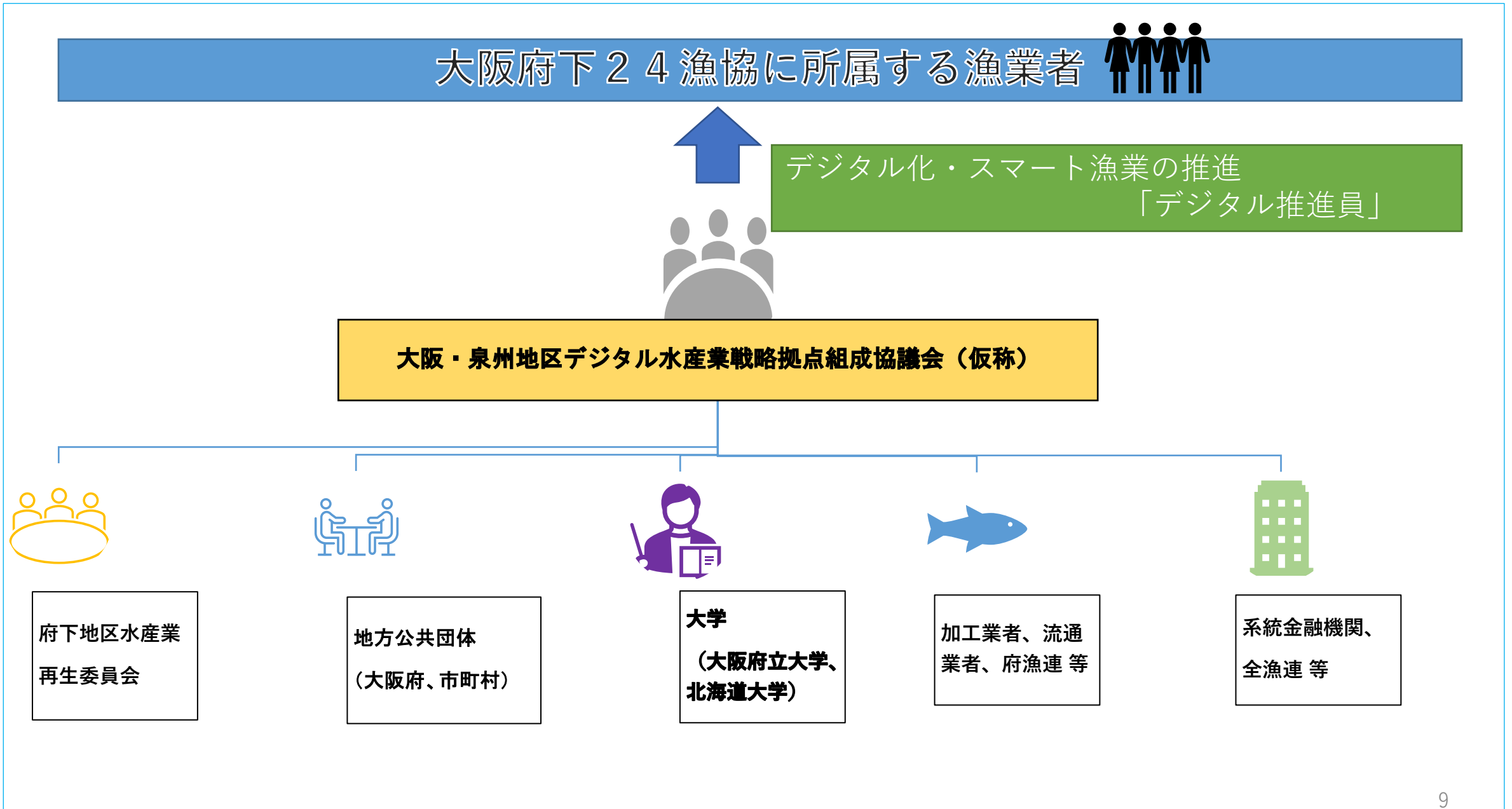
- ①市場外買受人への提供される入札データ、②市場外買受人の情報、③ECサイトへ掲載する画像、④ECサイトにおける販売履歴、⑤漁場データ、⑥ECサイト購入者の決済情報 等



課題「標的型メール等に対する個人情報資産のセキュリティ対策強化」



7. デジタル化に向けたコンソーシアム（イメージ・大阪・泉州広域水産業再生委員会を基盤とした場合）



8. 拠点創設に向けて取り入れたい水産デジタル機器・施設（例）



【機器】

「音声認識入札システム」

【内容】

競り業務の完全デジタル化目指し、鮮度判定で手が使えない仲買人のために、ヘッドフォン型音声認識機器から入札価格を入札システムに接続する

【施設】

「EC用ポータルサイト」

【内容】

市場や荷捌所から落札された鮮魚を漁協等が運営するECサイトに掲載、市場外買受人に入札機会を提供する。
また、一般消費者向け購入サイトも開設する



OSAKA

デジタル水産戦略拠点

（仮称）



【施設】

「漁場・販売実績データベースシステム」

【内容】

漁獲量や高単価を出した漁場の管理、入札システムによる季節ごとの魚種、単価等のデータ蓄積し利活用する

【機器】

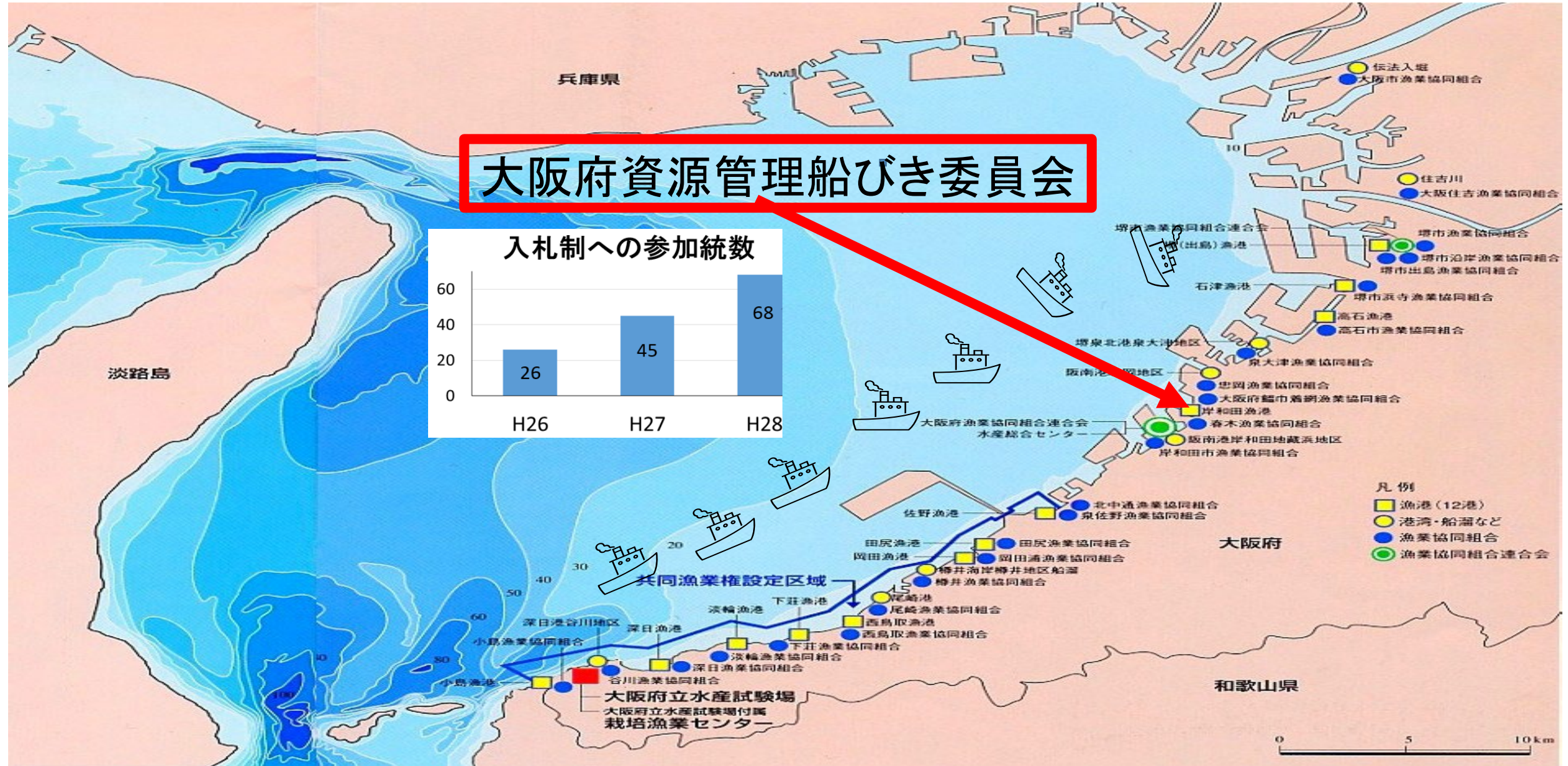
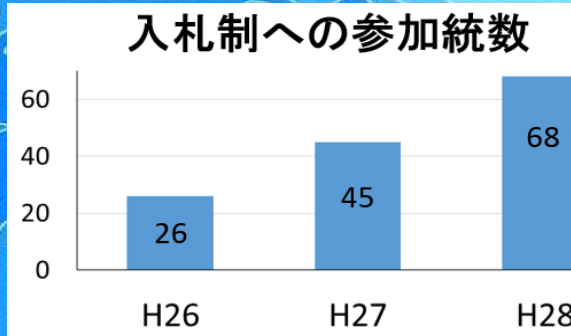
「無人無線漁場探索用ドローン」

【内容】

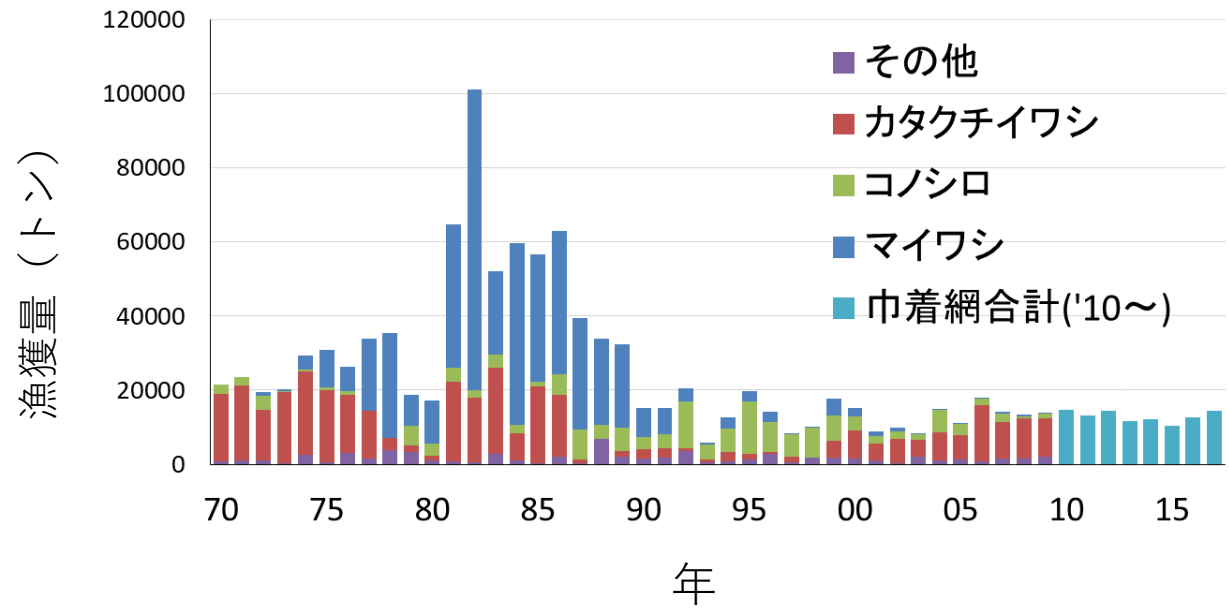
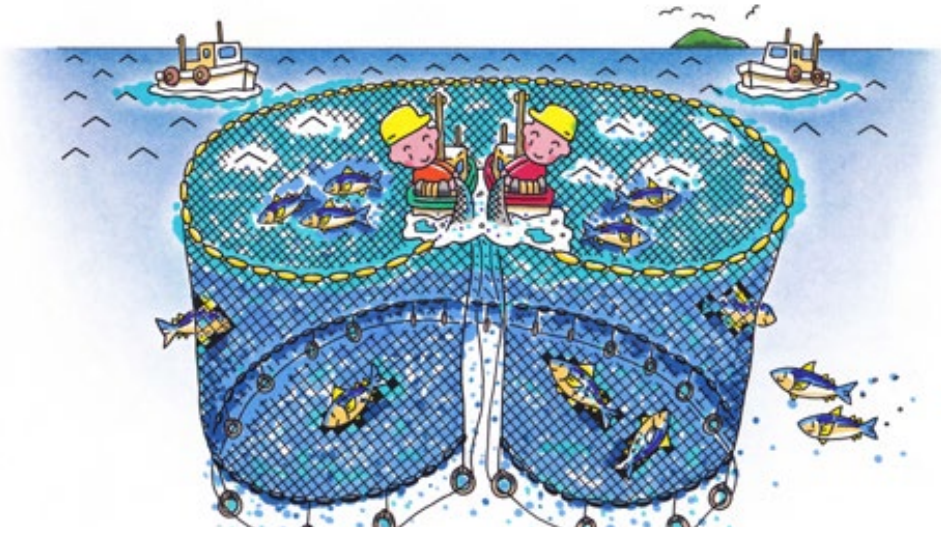
漁場探索のドローンの開発を実証展示補助事業を活用してメーカーや水研機構と連携して実用化を目指す



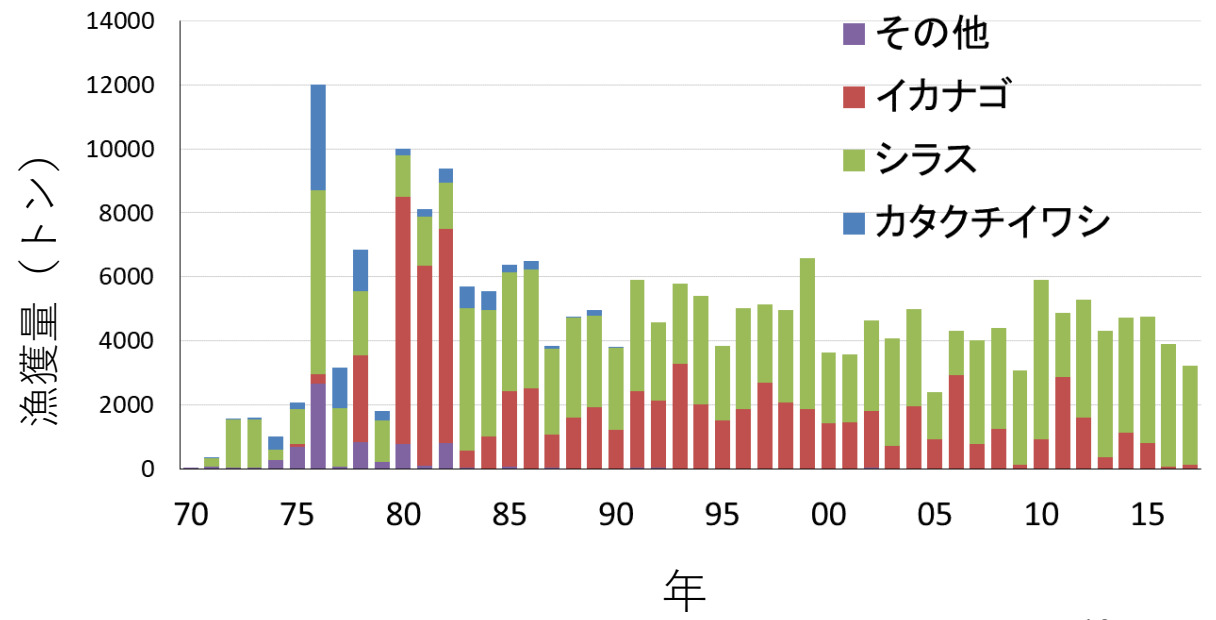
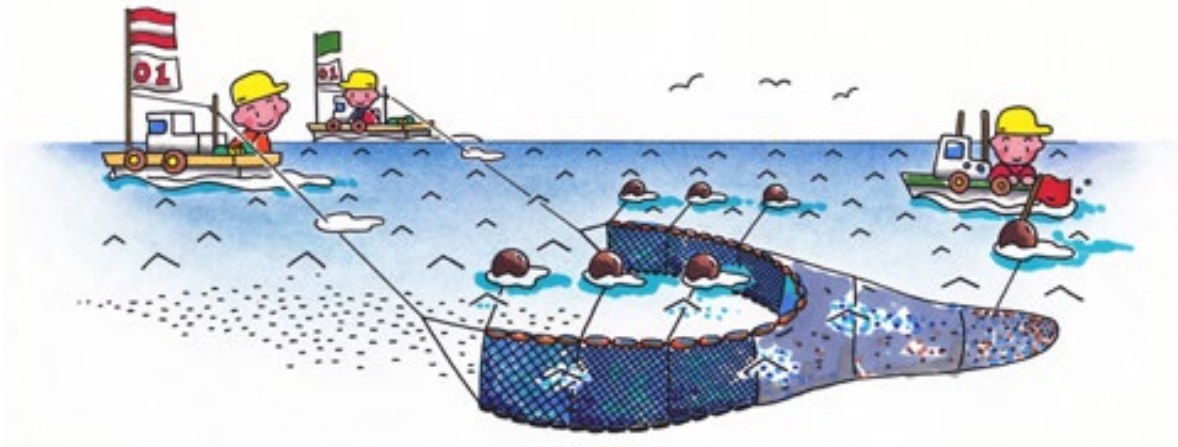
大阪府資源管理船びき委員会



巾着網漁業



船びき網漁業



浜の活力再生広域プランの概要（岸和田臨海地区地域水産業再生委員会）

< K P I 達成の具体策 >

漁法	主要魚種	K P I 達成の方向性
まき網漁	マイワシ、カクチイシ、ボラ、コノシロ等	<ul style="list-style-type: none"> ■ 冷凍魚の高鮮度化を図り、高鮮度冷凍エサや食用への転用で魚価底上げが必須。（冷凍輸出）・・・高速運搬船による高頻度輸送等 ■ 食習慣の無い魚（ボラ等）の海外食用市場に供給（冷凍輸出）
船びき漁	シラス、イナゴ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 船上から水揚げ・梱包までの鮮度管理の徹底 ■ 取引形態の「相対」から「競り」への移行

< K P I 達成のための課題 >

- ① 食用出荷比率の向上及びエサの付加価値向上（エサ出荷分を高鮮度で冷蔵・冷凍出来る施設整備）
- ② 関西国際空港を利用して販路拡大
- ③ 入札のための荷捌施設の整備

施設整備事業（イメージ）

大阪湾

巾着網漁業



マイワシ



船びき網漁業



生シラス



①岸和田市・地蔵浜で水揚げ

水揚場・荷捌場～冷凍・冷蔵保管施設



荷捌施設整備：約4.5億円
鮮度保持施設整備：約6.5億円

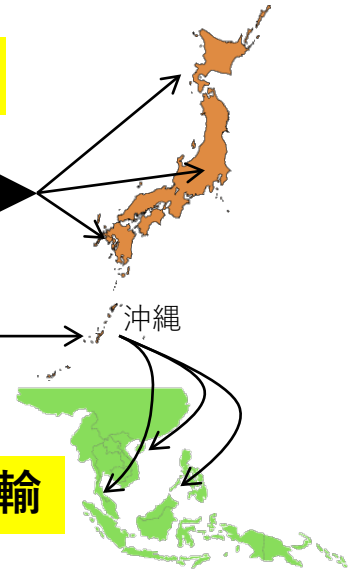
②全国へ陸送



関空へ陸送



③東南アジアへ空輸



地域のにぎわい



泉州名物
生シラス丼



地蔵浜マルシェ
毎週日曜日開催
鮮魚販売や飲食



大漁親子まつり¹⁵⁾

本日は最後までご清聴いただき、ありがとうございました。

全国漁業協同組合連合会

協力：大阪府鰹巾着漁業協同組合